

# 産業建設常任委員会

## 委員長報告

村上憲良

平成十九年第一回定例会常任委員会は閉会中を含め六日間委員会を行った。

### 審査の状況

平成十九年度隠岐の島町一般会計予算等付託案件10件、要望1件・陳情1件について慎重審議し、可決すべしとした。

国及び地方の厳しい財政状況のもと、**普通建設事業**においては、対前年比27%の減額である。**廃止代替バス路線運行費補助金**は毎年増え続ける、13路線の補助金4600万円について、少しでも減らすよう、路線ダイヤ等の見直しを検討するように指摘した。



(社)隠岐の島町観光協会

また、補助金を出している上で、行政指導をしているか、企業努力を促しているか、運賃の見直し等、又老人パス券1年間乗り放題の2万円についても、検討すべきとの意見があった。コミュニケーションバスの運行管理費が、700万円も計上されておられ、交通網の方向性を早急に出すべきと指摘した。

進む中、無くすことの出来ない事業であり、経費の削減を模索する上で、委託なども考慮に入れて検討するとの事である。

### 新エネルギービジョン

は、森林資源を活用した、木質バイオマス事業で間伐材や松くい被害木等の木材資源を粉体化し、化学処理により、メタンガス、エタノール、エコ商品の原料であるリグニンを抽出し、里山の適切な保全、管理を推進するものである。「コールセンター」の誘致については、企業の選択を吟味し、一日も早い誘致を要望した。

### 観光振興は、入り込み

客目標数を定め、増客対策を図ることを最重要課題に取り組みこと。また、観光協会等の組織体制に見直し、活性化する組織体制に取り組みよう要望した。

### \*要望

要望案件、隠岐の島町



JFしまね西郷支所

種苗センターの人員確保及び生産体制の充実については、一本釣りや、刺し網などの不漁に続き、高齢化が進み沿岸漁業が低迷しつつある。

### 種苗センターでは、あ

わび、いわがき、わかめなどの種苗生産が行われており、高齢者、団塊の世代の雇用を考えると、作り育てる漁業は島に欠かせない事業である。しかしながら、漁協における集出荷体制の問題、漁業者の意識面の改革なども求められている。

今後は、漁業組合の集出荷体制を充実される事と、受益者負担も考慮に入れた取り組みを行うよう提出者に申し入れをした。又、種苗センター運営については、離島漁業再生支援交付金制度の活用や漁業集落の活性化も合わせて検討していくことの申し入れをし、採択とした。

### 陳情、島根くらしとい

のちのネットワーク代表、倉塚香織氏から提出された、「農業空中散布に関する陳情書」は隠岐の島町では散布したところと、しないところでは、明らかに被害状況に差があり、又、ならん被害の届けも無く、今後も続ける必要があることから、不採択とした。

### 公共下水道整備に

関する調査では、管路工事の一部と浄化センター建設工事は、現場の状況から、繰



年々増えるバス補助金

越工事で完成を図る。新年度工事は、管路布設工事では下西地区など3地区で、開削工法、推進工法で工事が進められ、又、浄化センター建設では、2件の工事が完成予定であり、新たに管理棟建設工事や水処理関係の機械及び電気工事の発注が予定されている。しかし、今後の事業運営に当たり使用料金の動向とか、接続加入を促進する対策などの取り組みが課題である。

## 隠岐空港・航路対策特別委員会

委員長 福田 晃

委員会は、会期中の三月九日に開催し、重要課題について観光商工課長、補佐出席のもと、意見交換を行った。

隠岐航路対策では、隠岐汽船(株)経営再生計画進捗状況の説明があり、変更や設置された事項について審議した。

まず、2億5000万円の増資計画が、今回1億7000万円とする。内訳では8500万円を資本金に、8500万



羽田を目指せ!! 隠岐空港

円を資本準備金とし、残り8000万円は2年経過後に実施する。又、臨時株主総会で1億1825万円の減資が承認されたが、減資後の再生計画を要請した。

三月二日、隠岐汽船経営再生会議が県・四ヶ町村・広域連合・山陰合銀等で構成、設置され、さらなる経営改善方策、状況等を調査・審議するとの事です。

隠岐空港の利用促進では、安定した利用実績を積み重ねて、平成二十一年度の羽田直行便につながるため、平成十九年度の搭乗率80%目標とした取り組み等、課題と対応状況について説明を受けた。厳しい条件ではあるが、将来の羽田を目指すためには、最大限の努力をすべきと提言した。

## 隠岐広域連合議会報告

是津輝和

隠岐広域連合議会は第一回臨時会が一月三十一日、第一回定例会が二月十日、第二回臨時会が二月二十七日に開催されました。主な内容は次の通りです。

①「第一回臨時会」はフェリー「おき」を隠岐汽船から購入し、公の船とする為の条例の制定と、その購入費用等の20億5274万円を増額補正するもの。

②「第一回定例会」は先ず、扇谷西ノ島新町長を副連合長に選任、フェリー「おき」を19億9500万円で買取、隠岐汽船に四年間運行委託するものや、新年度の各会計事業の予算総額76億4644万円の審議を行った。

③「第二回臨時会」は隠岐病院医師の確保のため、「66歳以上の医師も採用出来るようにする条例」を定めるもの。いずれの議案とも可決した。

## 議員報酬・定数調査特別委員会報告

議会定例会、会期中三月九日に開催し、議員報酬・定数について協議を行った結果、町財政等、現状をふまえ報酬を10%、カットすべしとした。

又、途中で異動があった時は、従来月額支給していたが日額支給とした。

定数については、さらに調査・研究することとした。



議会風景

## 竹島問題を考える会からのお知らせ 「竹島標語」 優秀作品決定

平成19年2月10日から同月2月28日の約20日間、隠岐郡内において「竹島標語」を一般公募した結果、103作品の応募をいただきました。

3月末に行われた選定委員会では、すぐれた作品が多く選定は難航しましたが、竹島返還要求に相応しい標語として、下記の優秀作品5作品が選定されました。

今後、この作品を参考に、隠岐郡内での竹島返還標語として、看板・ポスター等で使用し、竹島問題を全国に広く呼びかけていきます。

皆様からの、たくさんのご応募誠にありがとうございました。

- 竹島は今も昔も隠岐の島 「森口光春」
- 竹島は何処にも譲れぬ隠岐島 「砂川喜代子」
- 竹島の史実が語る日本領 「高橋洋雄」
- 見捨てるな小さな竹島我らの大義 「高橋洋雄」
- 竹島の返還要求、私も参加 「是津輝和」